



臨時国会閉会

相次ぐ閣僚辞任 などで混乱、被害者救済法 成立も今後課題残す。

臨時国会は12月10日に閉会しました。旧統一教会などによる高額献金や靈感商法の被害者救済に向けた法案は、与野党が歩み寄って成立させることができませんでした。私も立憲民主党と日本維新の会が先行して法案を提出し、政府与党に国会での成立を強く迫ってきた成果だと思います。しかしながら、マインドコントロール下の寄付や2世の子どもの被害を本当に救済することが出来るのか実効性に課題を残しました。今回の新法は、あくまで被害者救済に向けた第一歩であり、今後の運用状況などをチェックしながら、必要な見直しを求めていきたいと思っています。

この国会では、わずか1カ月足らずの間に、3人の大臣が旧統一教会との関係や不適切な発言、政治とカネを巡る疑惑で辞任するという事態を招きました。岸田総理の更迭判断の遅れもあり、国会日程は混乱しました。さらには、秋葉復興大臣にも政治とカネの問題が明らかになっており、岸田総理の任命責任については、引き続き、厳しく問うていかなければなりません。

政府は今月中に「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を改定し、防衛力強化のための予算を2027年度に現在の国内総生産（GDP）の2%にすることを目指しています。岸田総理は防衛費増額に伴う財源として1兆円増税する方針を打ち出しました。政府与党内では、復興特別所得税の一部を転用する案も検討されているとのことですが、復興財源を防衛費に充てるなど言語道断です。私は、日本の安全保障体制を強化していくことは必要だと思えます。しかし、規模・数字ありきの増額は許されません。まずは、今後の防衛力強化について、具体的な内容を国民にしっかりと説明し、理解を得ることが先です。

来年の通常国会では、こうした問題に加えて、少子化対策や教育環境の充実、しっかりと取り組んでまいります。



りゅう
衆議院議員 元文部科学副大臣
笠ひろふみ





国会対応の先頭に立つ!

衆議院議院運営委員会の野党筆頭理事として国会審議について与党側との調整を担う。

旧統一教会による高額献金の被害者救済法案について与野党協議会を設置し、今国会での成立を目指すことで合意 10.21



自民、公明、立憲、日本維新の会による与野党協議会の初会合

安倍元総理の国葬について検証する与野党協議会を設置 10.27



衆院議院運営委員会理事会

臨時国会の召集要求に対して、20日以内の召集を内閣に義務付ける国会法改正案を野党共同で提出 10.3



調査研究広報滞在費(旧文書通信交通滞在費)の用途の公表などを定めた法案を日本維新の会、国民民主党と共同で提出 11.17



本会議前の代議士会で議事の日程や内容などについて説明

— 議員外交 —



ポルトガル共和国のサントス・シルヴァ会議議長と会談 11.15



モンゴル国のオフナー・フレルスフ大統領と会談 11.30

ボーイスカウト日本連盟創立100周年



記念式典は天皇皇后両陛下ご臨席のもと開催。レセプションで超党派のボーイスカウト振興国会議員連盟事務局長として挨拶 11.26



超党派「2025年デフリンピック東京大会推進議員連盟」設立総会 会長代行に就任 12.7

*デフリンピックは国際ろう者スポーツ委員会主催し、4年毎に開催されます。パラリンピックよりも歴史は古く、第1回は1924年にパリで開かれました。2025大会は100周年大会となります。



立憲民主党「日本・台湾議員懇談会」発足 幹事長に就任 12.5



「学校図書館図書等の整備・拡充」と「教科書での紙とデジタルの最適化」を求める各界連絡会で学校図書館議連・活字文化議連の事務局長として総括の挨拶 12.7

来年4月9日統一地方選挙に臨む立憲民主党候補予定者

多摩区



青山圭一 神奈川県議会議員3期
しまだ和明 新人
田倉俊輔 新人

麻生区



あまがさ裕治 川崎市議会議員9期
こぼりか子 川崎市議会議員3期
鈴木朋子 川崎市議会議員1期